

YA 通信

No62 2015年1月号
春日井市図書館発行

YA(ヤングアダルト)世代=10代のみなさんのための読書情報誌です。ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階YAコーナー所蔵です。



YAコーナーに新しく入った本からピックアップ。

New!!



『辞書からみた日本語の歴史』今野 真二/著
筑摩書房 81/シ/14

現代において辞書は使うものですが、江戸時代以前は写すことで所持し、自分で作り上げるものだったそうです。そうした時代の辞書は具体的に何かを調べるためというよりは自らの文字生活の記録としてのものでした。辞書を丁寧によみ、時代の日本語とのかかわりを探りながら追跡していくことのおもしろさを味わってみてください。



名作たからばこ



『中学生までに読んでおきたい日本文学① 悪人の物語』

まつだ てつお
松田 哲夫/編 あすなろ書房 918/アス/10-1

3階児童

悪人と聞くとどんなイメージを思い浮かべますか？凶悪な犯罪者？小ずるい悪党？それともマンガやゲームに出てくるラスボスとか？

この本は芥川龍之介や宮沢賢治といった名だたる作家の「悪人」に関する話が収録されています。さまざまな視点から描かれる「悪人」の姿に皆さんは何を感じるのでしょうか？短編を中心に収録されていますので、ちょっとした時間に読んでみるのもいいかもしれません。また、このシリーズはこの本以外にも、「お金物語」「食べる話」など全10シリーズありますので、他にも気になるものがあればぜひ読んでみてください。

世界遺産

世界遺産、と聞くとなんというか壮大なものがイメージされませんか？時代を経てなおたたく建築物や、荘厳な大自然。一度は行ってみたいなあ。でも、世界遺産のこって実はあんまり知らない人が多いんじゃないですか？富士山が登録された今、紹介している本を読んで勉強してみましょう。



『カラー版 世界遺産の建築を見よう』^{ふるいち ていき}古市 徹雄/著 岩波書店 52/セ/07

世界遺産といえば！！皆さんは何を思い浮かべますか？マチュピチュにアンコール・ワット、モン・サン・ミッシェルなど、最近で言えば富士山なんかも世界遺産です。この本では、世界遺産の建物について西洋建築(9つ)、イスラム建築(9つ)、付録で日本建築(3つ)を取り扱っています。地図と写真付きで分かりやすく説明されており、最後には用語も付いているので、興味の持ち始めに読むには最適な本です。世界遺産の建築物について少し知ってみませんか？

『世の中への扉 まるごと日本の世界遺産』^{ますだ あきよ}増田 明代/著 講談社 70/マ/13

3階児童

富士山が世界遺産に登録されて、日本中が沸いたことはまだまだ記憶に新しいことでしょう。しかし、世界遺産に登録されるとみんなが喜ぶのでしょうか。それに世界遺産ってどうやったら登録されるのでしょうか？日本には他にも世界遺産ってあったっけ？そもそも世界遺産っていったい何なの？

日本の象徴、富士山が登録された今こそ、世界遺産というものに興味を持ってみませんか？



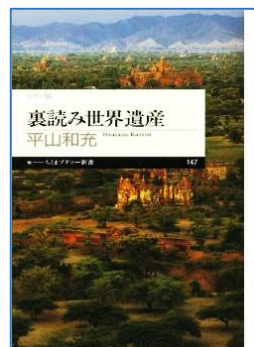
『カラー版 屋久島 樹と水と岩の島を歩く』^{あおやま じゅんぺい}青山 潤三/著 岩波書店 40/ヤ/08

屋久島は1993年に世界遺産に登録されました。九州最南端の佐多岬から60キロほどの位置に浮かぶ島です。亜熱帯から冷温帯までのバラエティー豊かな自然を五感すべてで味わえる絶好の地です。この本では著書の写真家が撮っためずらしい動植物との出会いを楽しめます。

『裏読み世界遺産』^{ひらやま かずみ}平山 和充/著 筑摩書房 70/ウ/10

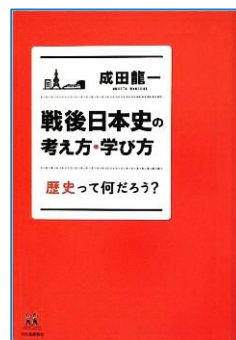
世界遺産と世界遺産じゃないものにはいったいどんな違いがあるのだろうか。そんなことを考えている写真家が、世界遺産にはなっていないが、これぞ世界遺産だろうといった風景を集めたのがこの本です。世界遺産だけにとどまらず世界には美しい光景があふれているということを実感できるはずです。

また、そんな著者がコレだけは外せないといった世界遺産をピックアップしたものも掲載されていますが、こちらも必見です。





『戦後日本史の考え方・学び方 歴史
 って何だろう?』 ^{なりた りゅういち} 成田 龍一 / 著
 河出書房新社 21/セ/13



戦後の日本史をコンパクトにまとめた一冊です。この本の一番の特徴は、「歴史とは何か」という問いについて考えながら、戦後日本で起こった出来事を解説している点です。教科書に書いてあることが歴史でしょうか？歴史と記憶の違いは何でしょうか？難解な問いですが、この本を読み終わる頃には自分なりの答えが出るのではないかと思います。そして、年号や人物名の暗記だけが歴史の勉強ではない、ということに気付くはずです。歴史を学び直したい大人にもおすすめの一冊です。

ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会さん)

『鹿の王 上』 ^{うえはし なほこ} 上橋 菜穂子 / 著 KADOKAWA 913/カト/14-1
 『鹿の王 下』 ^{うえはし なほこ} 上橋 菜穂子 / 著 KADOKAWA 913/カト/14-2



「群を守るためにわが身を犠牲にするなんて、凄い。それこそ群を守る<鹿の王>だ。」
 「おまえらみたいなの、ひよっこはな、生き延びるために全力を尽くせ。己の命を守れたら重畳。戦いの最中ではわが身を守ることにすら、なかなか出来やしない。敵が圧倒的に強ければ必死に逃げろ。逃げて命を繋ぎ、子を産み増やせ。それがお前たちの務めだ。」
 「だけど逃げ遅れた子どもがいたらたすけるのが戦士の務めじゃないか」
 「それはそれが出来る者がやることだ。敵の前にただ一頭で飛びだして、踊ってみせるような鹿は、それが出来る心と身体を天から授かってしまった鹿なのだろう。才というのは残酷なものだ。ときに死地にその者を押し出す。なんと哀しい奴じゃないか。」
 その身に異変が起きたヴァンとその病を治そうと治療法を探す医師ホツサル。2人を取りまくさまざまな蜘蛛の巣。彼らはどんな答えを探しているのだろうか。そしてどこへむかって行くのか。あなた自身でたしかめてください。

はたらくBOOK

毎号一つの職業に関する本をとりあげます。

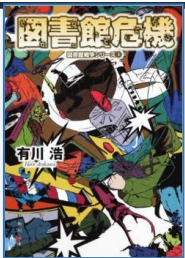


青年海外協力隊: JICA (独立行政法人国際協力機構) が実施する、海外ボランティア派遣制度のこと



『青年海外協力隊員になるには』 ^{よこやま かずこ} 横山 和子 / 著 ペリかん社 333.8/セ/13

青年海外協力隊員は、発展途上国の要請に応じ、農林水産、商業・観光、社会福祉など様々な分野で活躍をしています。この本には、選考過程・適性に関する情報から経験者の話、帰国後の進路まで、知りたい事柄が幅広く収録されています。体験談には、苦勞したことや嬉しかったこと、派遣先の様子が具体的に書かれており、どの人も貴重な経験をしたということが感じられます。ボランティアなので職業ではありませんが、体験後の生き方や仕事に大きな変化をもたらしてくれるでしょう。



『図書館戦争シリーズ』

ありかわ ひろ
有川 浩 / 著 KADOKAWA

どんな本?

表現作品や報道が検閲され、大衆の目にさらすのに適さないと判断されたものは全て規制されるようになった日本社会。そんな日本社会で表現の自由を守るため設立された『図書館隊』と呼ばれる組織。この小説は、そんな日本社会に生き、その組織『図書館隊』に入った一人の新人、笠原郁の恋愛、仕事、友情の物語です。

ここがオススメ!

注目は、やはり表現・報道の自由について。この作品を読んでいると、表現や報道だけでなく「自由」とは何かとも考えてしまいます。ストーリーもコメディタッチで読みやすく、息抜きにぴったりだと思います。YAの棚になくても、3階文庫コーナーにも所蔵してあるので、要チェック!! また、作中に出てくる本『レインツリーの国』も書籍化されているので興味があれば読んでみてくださいね!!

YA(ヤングアダルト)コーナーって?

図書館3階雑誌コーナーのとなりです。たとえば、こんな本があります。



- ◎ 10代向けの小説・読み物
- ◎ 勉強・進路・職業に関する本
- ◎ いろんな悩みの解決に役立つ本
(学校生活・友だち・恋愛・家族・心と体 など)
- ◎ 自分の世界を広げるための本(趣味やスポーツ)

「〇〇について調べたい!」
「△△の本はどこ?」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。

春日井市図書館

春日井市鳥居松町 5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/>

ケータイサイトはQRコードから→

